

【 河 川 編 】

河川分野における候補事例の収集

(1) 候補事例選定の視点

河川分野における事例については、河道計画の考え方、河道と沿川地域との関わり方、河道の線形・断面形など、河道本体に関する事例に加え、水門・堰・水制などの単体的な河川構造物や利活用に関わる空間整備、さらには砂防施設、ダム施設を対象とする。

(2) 規範候補（100 事例程度）の選定

選定については、「標準設計以前に造られたもので、優れたデザインあるいはスタンダードなデザインとして既に評価の定まったものを抽出」することから、下記の文献および資料を基本とした。

1) 国指定および登録文化財に関わる文献・資料

- ・文化庁「国宝・重要文化財建造物目録」1999
- ・文化庁「史跡名勝天然記念物指定目録」2002
- ・文化庁「登録有形文化財建造物目録」2004
- ・文化庁 HP：文化財検索システム

2) 近代土木遺産（土木学会選定）に関わる文献・資料

- ・(社)土木学会「日本の近代土木遺産 - 現存する重要な土木構造物 2000 選」2001
- ・(社)土木学会「日本の近代土木遺産（改訂版） - 現存する重要な土木構造物 2800 選」2005
- ・(社)土木学会 HP：選奨土木遺産（2000～2006）

3) 建設省土木研究所資料

- ・建設省土木研究所「歴史的河川構造物事例集その1」平成6年

- ・建設省土木研究所「水害防備林調査」昭和62年

また、標準設計以降に造られたものについても、優れたデザインあるいはスタンダードなデザインとして評価の定まったものを抽出することから、下記の文献および資料を基本とした。

- ・土木学会におけるデザイン賞受賞作品
(2001年～2006年までの受賞作品のうち河川に係わりのあるもの)

また、これらを補完する形で、専門家へのヒアリング調査を行い、候補事例の抽出を行った。

以下に、規範候補として選定した事例リストを示す。

【河川分野】選定候補リスト



01 茂漁川



02 北上川・石積護岸



03 横手川



05 阿武隈川・渡利地区



06 境川



08 常願寺川・済民堤



09 犀川



09 浅野川

河 道			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
1	茂漁川	所在地：北海道恵庭市 管理者：北海道 年 代：平成10(1998)年 その他：土木学会デザイン賞2006優秀賞	ふるさとの川モデル事業として、市民が憩い川とふれあえる水辺空間を形成するため、多自然型の河川改修を実施。
2	北上川・盛岡市材木町裏石積み護岸	所在地：岩手県盛岡市 管理者：東北地方整備局岩手河川国道事務所 年 代：江戸期～明治期 その他：盛岡市指定保存建造物 土木学会近代土木遺産ランクB	川沿いに屋敷を構える町人が護岸工事を実施。民営事業だったため、年代や投入する資金の違いなどにより、微妙な変化に富む石組が連続。川岸と家を結び石段も十数カ所設けられている。
3	横手川	所在地：秋田県横手市 管理者：秋田県 年 代：昭和62(1987)年～平成13(2001)年 その他：	横手城の外堀をイメージした男鹿石の乱れ石積みの護岸と河岸の都市計画道路との一体整備による河岸遊歩道、河岸樹木の保全が良好な河川景観を呈している。
4	最上川・直江石堤	所在地：山形県米沢市 管理者：東北地方整備局山形河川国道事務所 年 代：江戸期 その他：米沢市指定史跡	江戸期に最上川の氾濫を抑えるために設けられた玉石護岸。30～80cm程度の玉石を丁寧に積み上げあり、石積堤防の原形とも言える。
5	阿武隈川・渡利地区水辺空間整備	所在地：福島県福島市 管理者：東北地方整備局福島河川国道事務所 年 代：平成12(2000)年 その他：土木学会デザイン賞2004優秀賞	アースデザインを基本に、緩やかな地形の起伏と樹木の移植などにより、あたかも従前からそこにあったような河原を新たに創出することを志向。濃密なデザイン監理によりその実現に成功している。
6	境川	所在地：千葉県浦安市 管理者：千葉県 年 代：平成6(1994)年 その他：土木学会デザイン賞2002優秀賞	地域の居間づくりを目指し、レンガ貼りによる護岸の修景、対面型のテラス空間の整備などを実施。舗装面や防護柵、照明などの細部まで配慮されており、周辺住民からも親しまれている
7	和泉川・東山の水辺と関ヶ原の水辺	所在地：神奈川県横浜市瀬谷区 管理者：横浜市 年 代：平成9(1997)年 その他：土木学会デザイン賞2005最優秀賞	谷戸の空間構造を継承再生し、川と斜面林とが一体となった谷戸の生活空間を創出することを基本としている。模型による造成検討、現地確認を行いながらの施工により質の高い空間を実現している。
8	常願寺川・済民堤	所在地：富山県富山市 管理者：北陸地方整備局富山河川国道事務所 年 代：江戸後期 その他：	日本有数の急流河川・常願寺川の水の流れに抵抗するため、三面を巨石の石張で築いた堤防。安政5(1858)年の大地震による土石流被害に伴い、戦国時代に築堤の旧堤防の上に築かれた。
9	犀川・浅野川	所在地：石川県金沢市 管理者：石川県 年 代：犀川 昭和53(1978)年 その他：	古都金沢の中心部を流れる2つの川。犀川は扇状地河川の河道整備として京都・鴨川の河道整備の考え方を持ち込み、河道内にある玉石を巧みに活用し落ち着きのある風景を創出。
10	富士川水系・信玄堤	所在地：山梨県甲斐市 管理者：国土交通省・山梨県・甲斐市 年 代：天文11(1542)年～ その他：一部・国指定記念物(史跡)	甲斐の戦国大名武田信玄が、構築した総合的な治水・利水システム。江戸、明治、大正、昭和、平成と改修が重ねられながら今も機能している。

【河川分野】選定候補リスト



11 千本松原



11 千本松原



12 源兵衛川



14 足助川



16 五十鈴川



17 住吉入江



18 地藏川



20 大堰川

河 道			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
11	揖斐川 / 長良川・油島 千本松原締切堤	所在地：岐阜県海津市 管理者：中部地方整備局木曾川下流河川事務所 年 代：江戸期～明治期 その他：国指定記念物(史跡)	江戸期、明治期の三川分流工事の象徴的な堤防。揖斐川と長良川の間に1km余にわたって造られた背割堤であり、堤防上に日向松の並木が連続する。
12	源兵衛川	所在地：静岡県三島市 管理者：静岡県 年 代：平成4(1992)年 その他：土木学会デザイン賞2004最優秀賞	地域の住民が主体となり住宅地の中を流れる小川の再生を行い、遊びや散策、憩いの場、生態系復元の場として、川と町との新しい関係を構築している。
13	富士川・雁堤防	所在地：静岡県富士市 管理者：関東地方整備局甲府河川国道事務所 年 代：延宝2(1674)年 その他：富士市指定史跡	江戸期に造られた、地形、堤防、水制を組み合わせた河川施設。何本かの堤防で富士川の水の流れを弱め、なおかつ遊水地で水を回しながら下流に流す工夫が行われている。
14	足助川	所在地：愛知県豊田市 管理者：愛知県 年 代：大正期 その他：	住宅と一体となった護岸。護岸部には各家から水面にアクセスできるように階段が設置され、川とまちとが一体化している。
15	巴川・香風溪	所在地：愛知県豊田市 管理者：愛知県・豊田市 年 代：大正12(1923)年～ その他：	大正時代に河川沿川に楓や桜を植栽し、観光地として景観的に整備された河川空間。護岸は、水面から立ち上げずに、その前面に河原を確保することにより、護岸が目立たないようにしている。
16	五十鈴川	所在地：三重県伊勢市 管理者：中部地方整備局三重河川国道事務所 年 代：明治期～ その他：	伊勢神宮の内宮入り口前を流れる川。石積護岸と、清冽な水の流れを印象付ける河床の礫の敷き詰めが特徴的。
17	住吉入江	所在地：三重県桑名市 管理者：桑名市 年 代：平成14(2002)年 その他：土木学会デザイン賞2004優秀賞	桑名市街地の歴史的な掘割を再生、水辺沿いの歩行者空間を整備。歴史性を表現する素材として煉瓦を用いたデザインが特徴的。
18	地藏川	所在地：滋賀県米原市 管理者：滋賀県、米原市 年 代：江戸期～ その他：	旧中仙道の宿場町の水路。「居醒の清水」などのいくつかの湧き水が合流して水路を形成。階段が組み込まれ、やかんなどが冷やしてあり生活と、密着した身近な憩いの場としての水辺の整備。
19	鴨川・京都市街地河道	所在地：京都府京都市北区・中京区 管理者：京都府 年 代：昭和11(1936)年～ その他：	『古都千年の名川』として景観的配慮された河川整備。また、河川整備を都市計画の骨格とし、京阪電鉄や琵琶湖疎水の地下化、都市計画街路の設置などが計画され実現化している。
20	大堰川(嵯峨・渡月橋 辺り)	所在地：京都府京都市右京区 管理者：京都府 年 代：昭和2(1927)年(記念物指定) その他：国指定記念物(史跡・名勝)	小倉山を取り込んだ山紫水明の河川景観を呈している。渡月橋を主題に、石積みの低水護岸が山河の景観を引き立てている。皿型になった護岸肩部の処理が特徴的。

【河川分野】選定候補リスト



21 琵琶湖疏水



22 大谿川



23 佐用川



24 夙川



26 津和野川



27 旭川・勝山の船着場



28 倉敷川



30 藍場川

河 道			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
21	琵琶湖疏水	所在地：京都府京都市・滋賀県大津市 管理者：京都市 年 代：明治45(1912)年 その他：国指定記念物(史跡)	京都近代化の礎となった琵琶湖からの導水事業。各種構造物が築造されているが、京都市内東山麓は哲学の道として多くの人々の訪れる憩いの場となっている。
22	おおたにがわ 大谿川・城崎温泉街地 先護岸	所在地：兵庫県豊岡市 管理者：兵庫県・豊岡市 年 代：昭和元(1926)年～ その他：	大正15年の北但大震災の復興事業として整備。市街地全体を盛土し、区画整理と河川改修を一体的に実施し、温泉街の景観に配慮したデザインがなされている。
23	さようがわ 佐用川	所在地：兵庫県佐用郡佐用町 管理者：兵庫県 年 代：江戸期～ その他：	因幡街道随一の宿町として栄えた「平福」の町中を流れる川。佐用川沿いには、川座敷や土蔵群が軒を連ね、往時の面影を残している。
24	しほがわ 夙川・河川敷緑地	所在地：兵庫県西宮市 管理者：兵庫県・西宮市 年 代：昭和7(1932)年～ その他：	沿川開発から河川周辺の環境を守るために都市計画事業として沿川を公園化し周辺環境を守るために河川改修とまちづくりとを一体的に実施。
25	はつとろがわ 八束川・多自然型川づ くり	所在地：鳥取県八頭郡若桜町 管理者：鳥根県 年 代：平成4(1992)年 その他：	公園に隣接する本川の改修整備にあたり、使われなくなっていた旧河道を活用することで、治水能力を確保し、公園計画と調和の取れた河川改修を実現。
26	津和野川・景観整備	所在地：鳥根県鹿足郡津和野町 管理者：鳥根県 年 代：平成8(1996)年 その他：土木学会デザイン賞2002優秀賞	沿川の町有地と一体となった河川空間整備を行うことで、町の裏であった河川空間を表に引き出し、町と川との関係の再構築を図っている。
27	旭川・勝山の船着場	所在地：岡山県真庭市 管理者：岡山県 年 代：明治初期 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	旭川の舟運で栄えた面影を残す石積み(玉石積、巻石)の護岸が美しい河川景観を呈している
28	倉敷川	所在地：岡山県倉敷市 管理者：岡山県 年 代：昭和62(1987)年 その他：	かつての荷揚げ場の形態を踏まえた河岸整備を実施。沿川の古い町並みと相まって良好な河川景観を呈している。
29	おとあまち 太田川・碁町護岸	所在地：広島県広島市中区 管理者：中国地方整備局太田川河川事務所 年 代：昭和54(1979)年～ その他：土木学会デザイン賞2003特別賞	景観工学的な手法を用いて都市内の河川空間のデザインを行った先駆的な整備例。
30	藍場川	所在地：山口県萩市 管理者：萩市 年 代：江戸期～ その他：	街中の小水路。家中に水を引き込むといった水を使うシステムが今でも息づいている。

【河川分野】選定候補リスト



32 新町川



33 柳川の掘割



34 加勢川



35 庄手川



36 川内川・長崎堤防



37 十勝川・千代田堰堤



38 北上川・北上展勝地



39 中津川・岩手公園

河 道			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
31	一の坂川・石積護岸	所在地：山口県山口市 管理者：山口県 年 代：昭和49(1974)年 その他：	自然生態(ホタル)の保全と景観整備の2つの観点から整備された河川護岸。
32	新町川	所在地：徳島県徳島市 管理者：徳島県、徳島市 年 代：平成元(1989)年 その他：	沿川の商業施設と一体となった水辺の整備により新しい街中の賑わいと集いの拠点を整備。
33	柳川の掘割	所在地：福岡県柳川市 管理者：柳川市 年 代：江戸期～ その他：	有明海に面する水郷地帯。環境悪化が著しかった旧くからの掘割の再生を行い、暮らしに結びついた掘割の復活を実施。
34	加勢川・川尻地区石積み護岸	所在地：熊本県熊本市 管理者：九州地方整備局熊本河川国道事務所 年 代：江戸期～ その他：	加勢川の川港として栄えた場所の履歴に基づき、水辺の復元・再生に配慮した景観整備を実施している。
35	庄手川	所在地：大分県日田市 管理者：護岸 民間、床固 国土交通省 年 代：護岸 大正期、床固 昭和44(1969)～47(1972)年 その他：	大正期に船着場の荷揚げ施設として整備された玉石積みの護岸。護岸が雁行型に整備されているとともに、各所に階段が設けられ、町と川とが一体的に活用できるようになっている。
36	川内川・長崎堤防	所在地：鹿児島県薩摩川内市 管理者：九州地方整備局川内川河川事務所 年 代：貞享4(1687)年 その他：	川内川に江戸期(1687年)に竣工した石積の堤防。全国的にも珍しい、三角形の張り出しが連続した幾何学的な形状が特徴。
河川構造物等			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
37	十勝川・千代田堰堤	所在地：北海道中川郡池田町 管理者：帯広開発建設部 年 代：昭和10(1935)年 その他：土木学会選奨土木遺産	十勝川治水開闢期の歴史を伝える大規模固定堰。広い水通しを流れる水の表情が、雄大で美しい。現在は鮭の遡上を観察できる場所として、観光スポットにもなっている。
38	北上川・北上展勝地	所在地：岩手県北上市 管理者：北上市 年 代：大正10(1921)年 その他：	沢藤幸治(黒沢尻町長)が大正9年に和賀展勝会を起こし、桜の權威であった三好学東京帝大教授と井上清技師の指導のもと「和賀展勝地計画」を立案。各種の桜を植えるとともに背景となる赤松など他の樹木も計画的に育成。桜並木は現在観光名所である。
39	中津川・岩手公園	所在地：岩手県盛岡市 管理者：盛岡市 年 代：明治39(1906)年(開園) その他：	中津川沿いに整備された盛岡城址に続く河畔公園。境界などの工作物などがなく、川に開けた公園となっている。
40	旧北上川分流施設群 (脇谷水門・鞆波水門)	所在地：宮城県石巻市 管理者：東北地方整備局北上川下流河川事務所 年 代：旧施設 昭和7(1932)年 新施設 平成18(2006)年 その他：土木学会選奨土木遺産(旧施設)	昭和初期に造られた歴史的土木遺産でもある旧北上川分流施設(脇谷洗堰・水閘門、鞆波洗堰)と、その直上流に近年設けられた新しい水閘門施設。旧施設との関係を十分に配慮した新施設のデザインの好例。

【河川分野】選定候補リスト



42 安積疏水十六橋水門



43 荒川・水害防備林、霞堤



44 横利根川・横利根閘門



45 荒川・岩淵水門



47 多摩川・羽村堰



48 多摩川・六郷水門



49 多摩川・川崎河港水門



50 信濃川・大河津分水

河川構造物等			
No.	名称	概要・沿革	特徴
41	子吉川・二十六木地区 水辺空間整備	所在地：秋田県由利本荘市 管理者：東北地方整備局秋田河川国道事務所 年代：平成7(1995)年 その他：土木学会デザイン賞2005優秀賞	水制工により河畔林の風景を保全し、あいまいな水際線を実現。水制上には柳も繁茂し、多様な水中環境を創出。河川工学の知見を活かして、多自然型川づくりを実現している。
42	安積疏水十六橋水門	所在地：福島県会津若松市 管理者：福島県 年代：大正3年(1914)年 その他：土木学会選奨土木遺産	16連の大型可動堰。水切りのように尖った石積み堰柱が特徴的。
43	荒川・水害防備林、霞堤	所在地：福島県福島市 管理者：国土交通省、福島市他 年代：江戸期～ その他：土木学会選奨土木遺産	江戸期以来の典型的な霞堤防。アカマツの水害防備林とセットとなって広範囲に渡り整備されている。水害防備林の一部は、水林自然林として福島市民の憩いの場ともなっている。
44	横利根川・横利根閘門	所在地：茨城県稲敷市、千葉県香取市 管理者：関東地方整備局利根川下流河川事務所 年代：大正10(1921)年 その他：国指定重要文化財	大正期のレンガ造閘門で唯一の現役施設。周辺は公園として整備され、サクラの名所、横利根川に面した釣の名所として憩いの場となっている。
45	荒川・岩淵水門	所在地：東京都北区 管理者：関東地方整備局荒川下流河川事務所 年代：大正13(1924)年 その他：東京都選定歴史的建造物	東京・荒川下流部(隅田川)の放水路の分派部に設けられた水量調整のための水門で、全躯体が鉄筋コンクリート造の初期の構造物であり、以後に築造された水閘門の技術的な手本となった構造物。
46	隅田川・隅田公園	所在地：東京都台東区、墨田区 管理者：東京都台東区・墨田区 年代：昭和6(1931)年 その他：	関東大震災の復興公園として整備された公園の一つ。隅田川を挟んだ両側を公園用地に持つもので、我が国初の河岸公園(臨川公園)。
47	多摩川・羽村堰	所在地：東京都羽村市 管理者：東京都 年代：明治44(1911)年 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	曲線を描く3連(3段)の固定堰と「投渡し」の技術を伝承する珍しい形状の堰。
48	多摩川・六郷水門	所在地：東京都大田区 管理者：関東地方整備局京浜河川事務所 年代：昭和6(1931)年 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	ドイツ表現主義のデザイン。機械力に乏しい時代に対応する門扉の開閉機構にも工夫が見られる。
49	多摩川・川崎河港水門	所在地：神奈川県川崎市 管理者：川崎市 年代：昭和3(1928)年 その他：登録有形文化財	川崎大運河構想の名残。塔頂部に多摩川流域の特産であった葡萄と梨の彫刻があらわれている。
50	信濃川・大河津分水	所在地：新潟県燕市 管理者：北陸地方整備局信濃川河川事務所 年代：大正11(1922)年 その他：登録有形文化財(洗堰)	洗堰、可動堰、分水路等から成る、戦前最大の放水路事業のシンボリック施設。分水路の堤防には染井吉野が約3,000本植樹され、現在では花見の名所として親しまれている。

【河川分野】選定候補リスト



52 長良川・忠節特殊堤



53 木曾川・ケレップ水制工群



54 木曾川・船頭平閘門



55 瀬田川・洗堰



56 高野川・加茂川合流部



57 堂島川可動堰



58 堂島川 / 土佐堀川・中之島公園



60 高梁川・酒津南排水樋門等

河川構造物等			
No.	名称	概要・沿革	特徴
51	千曲川・亀腹水制	所在地：長野県長野市 管理者：北陸地方整備局千曲川河川事務所 年代：昭和初期～、平成3(1991)年補修復元 その他：	千曲川の屈曲部に昭和初期に築造された巨大な石積水制。亀の腹のような緩やかな丸みを帯びたデザインが特徴。平成3(1991)年に補修復元。
52	長良川・忠節特殊堤	所在地：岐阜県岐阜市 管理者：中部地方整備局木曾川上流河川事務所 年代：昭和13(1938)年 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	地域の資産である長良川への眺めに配慮し、洪水時には家々の畳を差し込み越水を防ぐという特殊な形の堤防整備を実施。寺勾配をもった自然石積み護岸として施工されている。
53	木曾川・ケレップ水制工群	所在地：愛知県愛西市 管理者：中部地方整備局木曾川下流河川事務所 年代：明治44(1911)年 その他：土木学会選奨土木遺産	オランダ人技師デ・レーケによる木曾三川改修事業の枢要。戦前で最大規模の水制群。水制周辺にはワンドが作り出されるほか、植物が茂り、魚の生息、水中植物の生育の場所となっている。
54	木曾川・船頭平閘門	所在地：愛知県愛西市 管理者：中部地方整備局木曾川下流河川事務所 年代：明治35(1904)年 その他：国指定重要文化財	木曾川と長良川を結ぶ閘門として設置され、両河川の水位差に対応できるように日本ではじめての複開式閘門として設けられた。
55	瀬田川・洗堰	所在地：滋賀県大津市 管理者：近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 年代：明治38(1905)年 その他：土木学会選奨土木遺産	築造当時は32門の威容を誇る大型のレンガ・石造の洗堰(通称：南郷洗堰)。現在は一部が保存されている。
56	高野川・加茂川合流部	所在地：京都府京都市左京区 管理者：京都府 年代：昭和16(1941)年 その他：	高野川と加茂川の合流部。合流部にある下賀茂神社の糺の森と呼ばれる社叢林とともに舌状に伸びた石積みの導流堤が良好な合流部の景観を創出している。
57	堂島川可動堰	所在地：大阪府大阪市北区 管理者：大阪市 年代：昭和4(1929)年 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	典型的なアメリカンタイプのデザインの可動堰。4連のアーチリブが特徴的。昭和57(1982)年に橋面を改装し、現在は橋(水晶橋)として使われている。
58	堂島川 / 土佐堀川・中之島公園	所在地：大阪府大阪市 管理者：大阪市 年代：明治24(1891)年 その他：	中ノ島を生かした水の都大阪のシンボリックな空間。堂島川、土佐堀川と、中央公会堂、中之島図書館など建築物、公園の緑が美しい景観を呈している。公園としての正式な開園は明治34年。
59	倉安川・吉井水門	所在地：岡山県岡山市 管理者：岡山県 年代：延宝7(1679)年 その他：岡山県指定史跡	江戸期につくられた水閘門の原形。自然の岩盤を巧みに利用しながら、花崗岩の切石で堅固に築いている。
60	高梁川・酒津取水樋門、酒津南配水樋門、酒津北排水樋門	所在地：岡山県倉敷市 管理者：高梁川東西用水組合 年代：大正13(1924)年 その他：土木学会選奨土木遺産	鉄筋コンクリート造の農業用の用水施設。RC造でありながら花崗岩を装飾に用いている。南配水樋門は総計15のゲートを持ち、現存する水門としては国内最大級のもの。

【河川分野】選定候補リスト



61 広島市内派川



62 錦川・錦帯橋周辺



64 矢部川水防林



66 菊池川・小浜地区低水水制群



67 菊池川・俵ころがし



68 大源太川第1号砂防堰堤



69 赤谷川・アカタン砂防堰堤群



70 牛伏川・フランス式階段工

河川構造物等			
No.	名称	概要・沿革	特徴
61	太田川広島市内派川	所在地：広島県広島市 管理者：広島市 年代：昭和23(1948)年 その他：	広島県の戦災復興計画の一環として、市内派川沿いにおける河岸緑地の確保を計画的に実施。その資産を活かした河岸の整備が進んでいる。
62	錦川・錦帯橋周辺	所在地：山口県岩国市 管理者：山口県 年代：大正11(1922)年(記念物指定) その他：国指定記念物(名勝)	石積みの護岸や河岸の桜並木が錦帯橋と調和した美しい河川景観を呈している
63	筑後川・山田堰	所在地：福岡県朝倉市 管理者：山田堰土地改良区 年代：寛文3(1663)年～ その他：	江戸期に行われた堀川用水工事の一環として築造。その後、幾度かの改修を経て、寛政2年(1790年)に現在の斜堰の原形が完成。
64	矢部川・水防林	所在地：福岡県みやま市 管理者：みやま市 年代：江戸期(1750年代) その他：国指定記念物(天然)	矢部川船子屋地区の中ノ島に植えられた「狐林」と呼ばれる大楠林(国指定天然記念物)。柳川藩が矢部川の堤防工事の際に整備。現在は中ノ島公園として整備。
65	嘉瀬川・石井樋	所在地：佐賀県佐賀市 管理者：九州地方整備局武雄河川事務所 年代：江戸期～、平成17(2005)年復元 その他：	歴史的な土木構造物の発掘調査を実施し、その形状や技法を忠実に復元して、取水堰および周辺の環境整備を実施。構造物を単体で整備せず、取水システム全体を復元。
66	菊池川・小浜地区低水水制群	所在地：熊本県菊池市 管理者：九州地方整備局菊池川河川事務所 年代：江戸期～、平成9(1997)年 その他：土木学会デザイン賞2002最優秀賞	加藤清正が造ったと伝えられる古い水制群や堤防裏法肩のハゼ並木などによって形成されていた従来の景観を壊すことなく、低水水制群を整備(平成9(1997)年)。流水と調和した新たな景観を創り出している。
67	菊池川・高瀬港御蔵床遺跡(俵ころがし)	所在地：熊本県玉名市 管理者：九州地方整備局菊池川河川事務所 年代：江戸期 その他：玉名市指定史跡	江戸期に米の積み出しが行われた玉名市指定史跡「高瀬船着場跡」の一部。米俵を米倉から坂道を転がして船に積み込む構造となっていることから、「俵ころがし」と呼ばれている。石積護岸と一体となった石造の船着場が歴史的景観を呈している。
砂防			
No.	名称	概要・沿革	特徴
68	大源太川第1号砂防堰堤	所在地：新潟県南魚沼郡湯沢町 管理者：北陸地方整備局湯沢砂防工事事務所 年代：昭和4(1929)年 その他：登録有形文化財	わが国の最初期のアーチ式砂防堰堤(堤高18m、堤長33m)。構造は粗石コンクリート造。堤体と地山との境界部の丁寧な処理、袖部の優美な曲線等、細部まできめ細かなデザインが施されている。
69	赤谷川・アカタン砂防堰堤群	所在地：福井県南条郡南越前町 管理者：福井県 年代：明治30(1897)年代 その他：登録有形文化財	巨石空積堰堤(玉石)。明治30年代に福井県事業で赤谷(あかたに)川上流域に建設された砂防堰堤。空石積(からいしづみ)堰堤が主。
70	牛伏川・フランス式階段工	所在地：長野県松本市 管理者：長野県 年代：大正7(1918)年 その他：登録有形文化財	明治18年以降、国直轄事業、県事業として進められた牛伏川砂防事業の最後期の構造物。延長141mで、19基の石造床固及び護岸工を地形に馴染ませながら階段状に連続させる。床固・張石水路・護岸が一体的となった三面張水路で、今までに見られなかった砂防施設。

【河川分野】選定候補リスト



71 木曾川水系・羽根谷砂防第一堰堤



74 白水川堰堤（鏝積み堰堤）



75 井風呂谷川堰堤群



76 堂々川砂防砂留工群



77 紅葉谷川庭園砂防



78 大谷川砂防堰堤

砂 防			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
71	木曾川水系・羽根谷砂防第一堰堤	所在地：岐阜県海津市 管理者：岐阜県 年 代：明治21(1888)年 その他：登録有形文化財	明治初期の空積石の砂防堰堤としては最大級のもの。150cm程度の巨石が利用された堂々たる堰堤。
72	草津川・オランダ堰堤	所在地：滋賀県大津市 管理者：滋賀県 年 代：明治22(1889)年頃 その他：選奨土木遺産	方形型の石を積み上げた堰堤。ヨハネス・デ・レーケ指導田邊義三郎設計とされる切石布積みアーチ式堰堤。関西治水史上重要な淀川水源地田上砂防施設群の一つ。
73	雲原砂防施設群	所在地：京都府福知山市 管理者：京都府 年 代：昭和27(1952)年 その他：登録記念物	赤木正雄による施設配置、流路工の線形改良など砂防の理想とする計画をそのままに実施した初めての工事。
74	<small>しらみずがわ</small> 白水川堰堤（鏝積み堰堤）	所在地：兵庫県西宮市 管理者：兵庫県 年 代：昭和8(1933)年 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	流水が直接目地にあたらず流下するように、積み石の下端を下りの石より突出させた独特の積み方がなされている。堰堤全体の外観が武將の鎧（よろい）のしころ（後頭部や首を保護する部分）に似ていることから「鏝積み」と呼ばれる。
75	<small>いばるたにがわ</small> 井風呂谷川堰堤群	所在地：岡山県総社市 管理者：岡山県 年 代：明治33(1900)年頃 その他：登録有形文化財(三号堰堤)	岡山県の砂防の先駆けとなった「宇野園三郎(うのえんさぶろう)」の砂防工事指導による巨石による空積えん堤。井風呂谷川砂防公園として整備。
76	<small>どうどうがわ すなだめこう</small> 堂々川砂防砂留工群	所在地：広島県福山市 管理者：中国地方整備局福山河川国道事務所 年 代：江戸時代末期 その他：登録有形文化財	江戸時代末期、福山藩の普請による石積砂防施設群。記録によると元文3(1738)年には、十二箇所の砂留めがあったという。特に威容を誇るのが十八世紀から二十世紀にわたり築かれた堂々川の六番砂留めである。
77	<small>あかしだに</small> 紅葉谷川・紅葉谷庭園砂防	所在地：広島県廿日市市 管理者：広島県 年 代：昭和25(1950)年 その他：	昭和20(1945)年の枕崎台風による宮島紅葉谷川の土砂災害に伴い、昭和23年「特別名勝厳島災害復旧工事」が砂防事業として着手。コンクリートを野面石で覆うなど名勝の景観に十分に配慮した砂防工事を実施。
78	大谷川砂防堰堤	所在地：徳島県美馬市 管理者：徳島県 年 代：明治22(1889)年頃 その他：登録有形文化財	緩やかなカーブを描く堰堤。河道の中心方向に水流が集まるように工夫されている。建設に際してはヨハネス・デ・レーケが指導を行ったと言われている。

【河川分野】選定候補リスト



79 笹流ダム



81 藤倉堰堤



82 小牧ダム



83 小屋平ダム



84 大井ダム



85 千苅ダム

ダ ム			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
79	ささながれ 笹流ダム	所在地：北海道函館市陣川町 管理者：函館市 年 代：大正12(1923)年 形 式：RCバットレスダム その他：土木学会選奨土木遺産	小野基樹設計の日本初のバットレスダム。昭和59(1984)年度に大規模な補修工事が完了しているが、バットレス形式の特徴を活かした補修デザインが行われている。
80	大湊第一水源池堰堤	所在地：青森県むつ市 管理者：むつ市 年 代：明治42(1909)年 形 式：厚アーチ式石造堰堤 その他：土木学会近代土木遺産ランクA	堤体と溢流口のアーチ形状が美しい、日本初の切石積みアーチダム。東京丸の内ビルの設計者桜井小太郎が意匠を設計。日露戦争直前、津軽海峡防衛の水雷団が設置されたことによる北方警備を物語る軍用水道施設。
81	藤倉堰堤	所在地：秋田県秋田市 管理者：秋田市 年 代：明治44(1911)年 形 式：粗石コンクリート(表面布積) 重力式ダム その他：国指定重要文化財	明治期の水道用ダム。石張りの堤体を全面越流水する落水が美しい表情を生み出している。近代化遺産として我が国初の重要文化財として選定されている。
82	小牧ダム	所在地：富山県礪波市庄川町 管理者：関西電力 年 代：昭和5(1930)年 形 式：重力式コンクリートダム その他：登録有形文化財	緩やかに湾曲する平面形状と越流部の17門のテンターゲートが創り出す迫力とリズム感が特徴。設計は、石井頼一郎(構造)、山口文象(意匠)の手による。
83	こやだいら 小屋平ダム	所在地：富山県黒部市宇奈月町 管理者：関西電力 年 代：昭和13(1938)年 形 式：重力式コンクリートダム その他：土木学会近代土木遺産ランクA	黒部峡谷の自然景観に対峙する簡潔なデザインのダム。発電所建屋も含め建築家の山口文象がデザイン。
84	大井ダム	所在地：岐阜県恵那市大井町 管理者：関西電力 年 代：大正13(1924)年 形 式：重力式コンクリートダム その他：土木学会選奨土木遺産	福沢諭吉の養子で日本の電力王とも言われた福沢桃介が手がけた電力事業の代表例。木曾川本川を締め切った大型のコンクリートダム。下流河道との擦り付けに配慮した堤体下流面の下段部の形状や天端部の照明柱のデザインに特徴がある。佐野藤次郎が工事監督。
85	せんがり 千苅ダム	所在地：兵庫県神戸市北区 管理者：神戸市水道局 年 代：大正9(1919)年 形 式：重力式コンクリートダム その他：登録有形文化財	布引ダム、立ヶ畑ダムに続く神戸水道ダム群の一つ。堤頂に並ぶスライドゲートは現存するものとしては最古。大正8年に完成したが、昭和4年から6年にかけて、6m嵩上げされた。佐野藤次郎が設計指導。
86	たちがはた 立ヶ畑ダム(烏原堰堤)	所在地：兵庫県神戸市兵庫区 管理者：神戸市水道局 年 代：明治38(1905)年 形 式：粗石モルタル(表面布積) 重力式ダム その他：登録有形文化財	布引ダムに次いで築造された粗石コンクリート造のダム。平面線形に緩やかな曲線を持つ重力式アーチダムの。設計者は布引ダムに引き続き佐野藤次郎の手による。

【河川分野】選定候補リスト



87 布引ダム



88 本庄堰堤



89 豊稔池ダム



90 中筋川ダム



92 小ヶ倉ダム



93 本川内高部ダム

ダ ム			
No.	名 称	概要・沿革	特 徴
87	<small>ぬのびき</small> 布引ダム(五本松堰堤)	所在地：兵庫県神戸市中央区 管理者：神戸市水道局 年 代：明治33(1900)年 形 式：粗石コンクリート(表面布積) 重力式ダム その他：国指定重要文化財	開港都市神戸の近代化のための築造された我が国第一号の粗石コンクリート造の重力式ダム。設計は、その後多くの黎明期のダムデザインに携わった佐野藤次郎による。堤体の石垣は型枠に用いた切石をそのままに残したためという。
88	本庄堰堤	所在地：広島県呉市 管理者：呉市水道局 年 代：大正7(1917)年 形 式：重力式コンクリートダム(表面石積) その他：国指定重要文化財	旧海軍の水道用ダム。御影石の堰堤と5本のバットレスによる重厚かつ端正なデザインが施されている。当時海軍省工務監であった吉村長策が工事監督。
89	<small>ほうねんいけ</small> 豊稔池ダム	所在地：香川県観音寺市 管理者：豊稔池土地改良区 年 代：昭和4(1929)年 形 式：マルチプル・アーチダム その他：国指定重要文化財	石積み式の5連のマルチプルアーチ形式のダム。米国で先端技術だったマルチプルアーチ方式を日本で初めて適用。佐野藤次郎が工事指導。
90	中筋川ダム	所在地：高知県宿毛市 管理者：四国地方整備局中筋川総合開発事務所 年 代：平成8(1996)年 形 式：重力式コンクリートダム その他：土木学会デザイン賞2001優秀賞	越流水の減勢効果を目的に下流面を階段状にすることで、下流面に豊かな表情を生み出したダムデザイン。
91	<small>かわち</small> 河内堰堤	所在地：福岡県北九州市八幡東区 管理者：北九州市 年 代：昭和2(1927)年 形 式：粗石コンクリート(表面布積) 重力式ダム その他：土木学会近代土木遺産ランクA	戦前の貯水池ダムとしては最高の高さ。自然石張りで、天端高欄の矢狭間の意匠が特徴的。
92	<small>おがくら</small> 小ヶ倉ダム	所在地：長崎県長崎市 管理者：長崎市水道局 年 代：大正15(1926)年 形 式：粗石コンクリート(表面布積) 重力式ダム その他：土木学会近代土木遺産ランクA	長崎市水道拡張計画に基づき施行された水道用ダム。余水は堤頂に設けられた10連の開口部より越流。越流部には鉄筋が入られ、長崎水道工事最初の鉄筋コンクリートダム。
93	<small>ほんごうちこうぶ</small> 本川内高部ダム	所在地：長崎県長崎市 管理者：長崎市水道局 年 代：明治24(1891)年 形 式：アースダム その他：土木学会選奨土木遺産	わが国初の近代水道ダム(アースダム)。吉村長策が設計・監督。堤体下流面は芝張りであり、堤体中央部に埋設されている煉瓦製の導水トンネルの両横に管理用階段が配置され、格調高い美しさを生み出している。
94	<small>はくすい</small> 白水ダム	所在地：大分県竹田市 管理者：富士緒井路土地改良区 年 代：昭和13(1938)年 形 式：重力式割石コンクリートダム その他：国指定重要文化財	ダムサイトの地質条件を克服するための越流水の勢いを弱める工夫が左右岸の導流壁の設計に反映され、美しい落水の表情を生み出している。設計は県の土木技師小野安夫。

河川分野における規範事例選定の考え方

景観デザイン規範事例集（河川編）は河道（12 事例）、河川構造物等（6 事例）、砂防（3 事例）、ダム（4 事例）の計 25 の事例についてなるべく図面を多用しながら、河川技術者、河川デザイナーの用に供するためにまとめたものである。歴史的な時間の変遷を経て評価されてきた事例を中心に、まだ評価は定まっていないが参考になると考えた最新の事例も加えまとめた。その結果、6 事例は平成になってから竣工した比較的新しい事例である。

さて河川はそもそも自然のものであるが、人が河川を利用あるいは制御しようとした長い歴史を有している。特に水田稲作が導入されて以降、長い間、洪水を防御しつつ水田へ水を供給するという、治水・利水を分離することなく統合的技術として発展してきた。しかし明治維新以降、一貫して機能分離が行われて、治水、利水はそれぞれ別の機関が管理するようになった。その結果、現在では治水技術、利水技術は独立の技術として捉えられがちである。この事例集のなかにも江戸時代以前の事例が含まれるがそれらは、治水の単独技術として捉えるのではなく用水供給や舟運路の確保など利水機能も持たせた複合的な機能を持つ施設として捉える必要がある。統合技術であるがための工夫と苦労がそこにはみられるからである。

現代の河川技術の課題の一つが治水、利水の機能に景観を含めた環境機能をどのように融合させていくかにある。これは、歴史的に見ると機能分化から機能統合へ、単機能から複合的な機能へという大きな技術史的な転換期として捉えることが必要である。

したがって河川風景に手をつけようとする場合にはデザイナーは自然の営みと人と河川の係わりを十分に理解し、治水利水機能とすることが必須である。

本書は技術書として多くのヒントが隠されていると同時に、技術者の意気込みが伝わってくる読み物としても面白いものに仕上がっている。河川デザイナーのみならず、多くの河川に関係する人々に利用されることを期待している。

土木デザイン集成編集小委員会 河川部会長
九州大学大学院教授
島谷 幸宏

【河川分野】規範事例一覧

	種別	事例対象	所在地
1	河道	富士川水系・信玄堤	山梨県甲斐市竜王付近
2		巴川・香嵐溪	愛知県豊田市足助町
3		大谿川・城崎温泉街地先護岸	兵庫県豊岡市城崎町湯島
4		夙川・河川敷緑地	兵庫県西宮市
5		鴨川・京都市街地河道	京都府京都市北区・中京区
6		一の坂川・石積護岸	山口県山口市大字後河原
7		太田川・基町護岸	広島県広島市中区基町
8		八東川・多自然型川づくり	鳥取県八頭郡若桜町
9		津和野川・景観整備	島根県鹿足郡津和野町後田
10		阿武隈川・渡利地区水辺空間整備	福島県福島市渡利
11		子吉川・二十六木地区多自然型川づくり	秋田県由利本荘市二十六
12		和泉川・東山の水辺と関ヶ原の水辺	神奈川県横浜市瀬谷区宮沢
13	河川構造物等	木曾川・船頭平閘門	愛知県愛西市立田町福原
14		荒川・岩淵水門	東京都北区岩淵
15		旧北上川分流施設群（脇谷水門・鴫波水門）	宮城県石巻市
16		嘉瀬川・石井樋	佐賀県佐賀市
17		筑後川・山田堰	福岡県朝倉市山田
18		隅田川・隅田公園	東京都台東区浅草・今戸、墨田区向島
19	砂防	牛伏川・フランス式階段工	長野県松本市
20		木曾川水系・羽根谷砂防第一堰堤	岐阜県海津市奥条
21		雲原砂防施設群	京都府福知山市雲原
22	ダム	布引ダム（五本松堰堤）	兵庫県神戸市中央区
23		立ヶ畑ダム（鳥原堰堤）	兵庫県神戸市北区
24		小牧ダム	富山県礪波市庄川町
25		白水ダム	大分県竹田市
26	コラム	水門の開閉装置の変化とデザイン	-
27		護岸端部のデザイン	-
28		伝統治水に学ぶしなやかなデザイン	-
29		流れのデザイン	-